



Cisco DNA Assurance の概要

- [About Cisco DNA Assurance](#) (1 ページ)
- [アシュアランスのアーキテクチャ](#) (2 ページ)
- [ログイン](#) (3 ページ)
- [ネットワーク管理者として初回ログイン](#) (4 ページ)
- [デフォルト ホームページ](#) (5 ページ)
- [始める アシュアランス](#) (9 ページ)

About Cisco DNA Assurance

アシュアランス 増え続けるビジネスニーズに対応するために、優れた一貫性のあるサービスレベルを保証する包括的なソリューションを提供します。リアクティブなネットワーク監視とトラブルシューティングに対応するだけでなく、ネットワーク実行のプロアクティブかつ予測的側面にも対応し、クライアント、アプリケーション、およびサービスの最適なパフォーマンスを確保します。

アシュアランス には、次のような利点があります。

- ネットワーク、クライアント、およびアプリケーション関連の問題へ実用的な情報を提供します。これらの問題は、複数の情報の基本的小および高度な相関関係から成り立っているため、ホワイトノイズと誤検出は除外されます。
- システムガイド付きとガイドなしの両方のトラブルシューティングを提供します。アシュアランス は多くの問題に対してシステムガイド付きアプローチを提供します。このアプローチでは、複数の重要業績評価指標 (KPI) が関連付けられ、テストおよびセンサーからの結果を使用して問題の根本原因を特定してから、可能なアクションを提示して問題を解決します。データの監視ではなく、問題点を浮き彫りにすることに重点が置かれています。アシュアランス では、非常に頻繁にレベル3サポートエンジニアの作業が実行されません。
- ネットワークとネットワークデバイス、クライアント、アプリケーション、およびサービスに関する詳細な正常性スコアを提供します。アクセス (オンボーディング) と接続の両方のクライアントエクスペリエンスが保証されます。

アシュアランスのアーキテクチャ

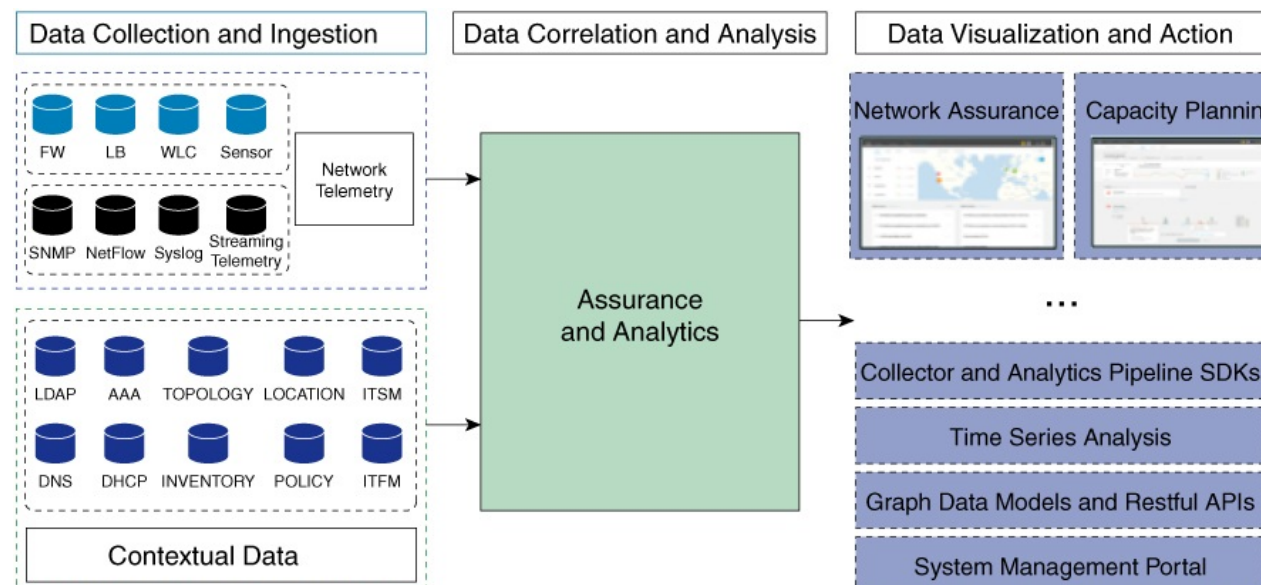
企業は多数のネットワークデータを扱っています。IT組織にとっては、ネットワークデータの量、多様性、速度、および精度への対応が重要です。アシュアランスは、ネットワークデータの問題（ある場合）を処理するために設計されています。

アシュアランスは多目的でリアルタイムのネットワークデータの収集および分析エンジンであり、これによりネットワークデータのビジネスにおける可能性を大幅に向上させることができます。

アシュアランスは収集層と分析層を簡略化および抽象化し、Web インターフェイスとともに豊富な API を提供しています。アシュアランスは、1 セットのネットワークデータを使用して幅広い使用例に対応します。これらの利点により、ネットワークデータの収集および分析に伴う動作およびネットワーク管理のオーバーヘッドが合理化され、企業はそれぞれの企業目標に効果的に注力できます。

柔軟なアーキテクチャを備えたアシュアランスは、広範な Cisco DNA 戦略をサポートしながら、モニタリングとトラブルシューティング、コスト管理、ポリシー検出など、一般的な多くの使用例に対応します。

次の図とその後の情報で、アシュアランスアーキテクチャについて説明します。



- **データ収集と取り込み:** アシュアランスはストリーミングテクノロジーを活用して、さまざまなネットワークテレメトリとコンテキストデータをリアルタイムで収集します。
- **データ相関関係と分析:** データが取り込まれると、アシュアランスはデータを関連付けて分析します。

- **データの可視化とアクション**：データはデータベースに保存され、API を介してアシュアランスやその他のアプリケーション（キャパシティプランニングなど）に公開されます。アシュアランスは、以下を提供するオープンシステムです。

- コレクタと分析パイプライン SDK
- 時系列分析
- グラフデータモデルと RESTful API
- システム管理ポータル

ログイン

ブラウザで Cisco DNA Center のネットワーク IP アドレスを入力してアクセスします。互換性のあるブラウザについては、[Cisco DNA Center のリリース ノート](#)を参照してください。この IP アドレスで外部ネットワークに接続します。これは、Cisco DNA Center のインストール時に設定されます。Cisco DNA Center のインストールと設定の詳細については、『[Cisco Digital Network Architecture Center インストール ガイド](#)』 [英語] を参照してください。

ログイン状態を維持するには、Cisco DNA Center を継続的に使用する必要があります。長時間非アクティブ状態が続くと、Cisco DNA Center のセッションから自動的にログアウトします。

-
- ステップ 1** 次のフォーマットで、Web ブラウザのアドレスバーにアドレスを入力します。ここで、*server-ip* は Cisco DNA Center をインストールしたサーバの IP アドレス（またはホスト名）です。

`https://server-ip`

例：`https://192.0.2.1`

ネットワーク構成によっては、ブラウザを更新して Cisco DNA Center サーバのセキュリティ証明書を信頼する必要が生じる場合があります。これを行うと、クライアントと Cisco DNA Center 間の接続のセキュリティが確保されます。

- ステップ 2** システム管理者により割り当てられた、Cisco DNA Center のユーザ名とパスワードを入力します。Cisco DNA Center にホーム ページが表示されます。

使用しているユーザ ID に NETWORK-ADMIN-ROLE が割り当てられていて、同じ権限を持つ他のユーザが先にログインしていない場合、ホーム ページではなく初回セットアップウィザードが表示されます。詳細については、[ネットワーク管理者として初回ログイン（4 ページ）](#)を参照してください。

- ステップ 3** ログアウトするには、右上隅の歯車アイコン (⚙️) をクリックし、[Sign Out] をクリックします。
-

ネットワーク管理者として初回ログイン

使用しているユーザ ID に NETWORK-ADMIN-ROLE が割り当てられていて、同じロールを持つ他のユーザが先にログインしていない場合は、[Get Started] ウィザードにリダイレクトされます。

このウィザードを使用すると、Cisco DNA Center から即時値をすぐに取得できます。これは複数の画面で構成され、ネットワーク デバイスの状況の検出とモニタに必要な情報を収集します。さらに、Cisco DNA Center ホームページダッシュボードを使用してネットワークの全体的な健全性を視覚化できます。

ウィザードで行うタスクと同じタスクはすべて、その他の Cisco DNA Center の機能で実行できます。ウィザードを使用しても、このような機能を使うことができます。任意の時点でウィザード全体をスキップできます。ウィザードが再び表示されることはありません。ただし、Cisco DNA Center では、同じ権限を持つユーザがこのウィザード手順を完了するまで、このようなユーザのログイン時に同じロールが表示され続けます。ウィザードの完了後は、Cisco DNA Center でウィザードが再度表示されることはありません。

[Get Started] ウィザードをスキップした場合でも、ホームページの右上にある [Get Started] リンクからいつでも再アクセスできます。

始める前に

ウィザードを完了するには、以下の情報が必要です。

- SYSLOG サーバと SNMP サーバの IP アドレス
- Netflow サーバの IP アドレスとポート
- ディスカバリ：開始する IP アドレス（CDP ディスカバリを選択している場合）または開始と終了の IP アドレス（範囲ディスカバリを選択している場合）
- オプション：優先される管理 IP アドレス
- デバイス CLI クレデンシャル（イネーブルパスワードなど）
- SNMP v2c クレデンシャル（read コミュニティストリングなど）

ステップ 1 ログイン (3 ページ) の説明に従って、通常の手順で Cisco DNA Center にログインします（まだログインしていない場合）。

初めてログインした場合は、[Get Started] ウィザードにリダイレクトされます。

ステップ 2 [Get Started] ウィザード で [Get Started] をクリックしてデバイスの検出を続行するか、または [Exit] をクリックしてホームページに戻ります。

ステップ 3 デバイス検出のネットワークプロパティ を入力し、[Save & Next] をクリックします。

前の画面に戻るには、[Back] をクリックします。

ステップ 4 [Discovery Type]、[Starting IP Address]、および [CLI Credentials] を指定します。

[Device Controllability] はデフォルトで有効になっています。[Disable] をクリックしてデバイス可制御性を無効にすることはできますが、ネットワークデバイスでテレメトリを手動で有効にする必要があります。「[デバイスにテレメトリ プロファイルを適用](#)」を参照してください。

ステップ 5 完了したら [検出を開始する (Begin Discovery)] をクリックすると Cisco DNA Center にホーム ページが表示されます。ここに、検出が完了するにつれネットワークの健全性情報が徐々に表示されていきます。

デフォルト ホームページ

ログインすると、Cisco DNA Center のホームページが表示されます。ホームページには、主要エリアとして、[Summary]、[Network Snapshot]、[Network Configuration]、および **アシュアランス** [Tools] があります。

[Summary] **アシュアランス** エリアには次の内容が含まれます。

- [Health] : 企業全体の正常性スコア（ネットワークデバイス、有線クライアント、ワイヤレスクライアントなど）が提供されます。[View Details] をクリックすると、[Overall Health] ウィンドウが表示されます。
- [Critical Issues] : P1 と P2 の問題の数が表示されます。[View Details] をクリックすると、[Open Issues] ウィンドウが表示されます。
 - [P1] : ネットワーク運用に幅広い影響を与える前に早急な対応を必要とする重大な問題。
 - [P2] : 複数のデバイスまたはクライアントに影響を与える可能性がある主要な問題。
- [Trends and Insights] : ネットワークのパフォーマンスに関するインサイトが提供されます。[View Details] をクリックすると、[Network Insights] ウィンドウが表示されます。

[ネットワーク スナップショット (Network Snapshot)] エリアには次のコンポーネントが含まれます。

- [サイト (Sites)] : ネットワーク上で検出されたサイトの数と、DNS サーバおよび NTP サーバの数が示されます。[Add Sites] をクリックすると、[Add Site] ウィンドウが表示されます。
- [ネットワークデバイス (Network Devices)] : ネットワーク上で検出されたネットワークデバイスの数と、要求されていないデバイス、プロビジョニングされていないデバイス、および到達不能なデバイスの数が示されます。[Find New Devices] をクリックすると、[New Discovery] ウィンドウが表示されます。
- [アプリケーションポリシー (Application policies)] : ネットワーク上で検出されたアプリケーションポリシーの数と、成功およびエラーになった展開の数を表示します。[Add New Policy] をクリックすると、[Application Policies] ウィンドウが表示されます。

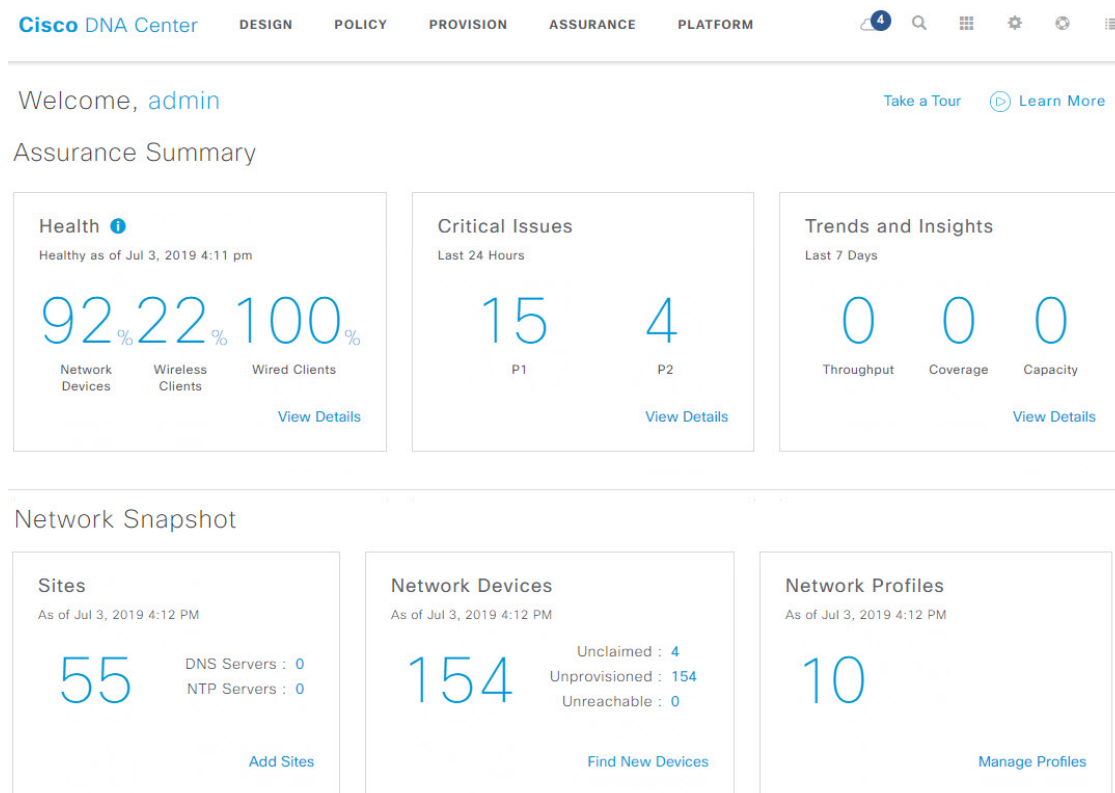
- [ネットワークプロファイル (Network Profiles)] : ネットワーク上で検出されたプロファイルの数を示します。[Manage Profiles] をクリックすると、[Network Profiles] ウィンドウが表示されます。
- [イメージ (Images)] : ネットワーク上で検出されたイメージの数と、タグなしイメージおよび未検証イメージの数が示されます。[Import Images/SMUs] をクリックすると、[Image Repository] ウィンドウが表示されます。
- [Licensed Devices] : Cisco DNA Center ライセンスを持つデバイスの数と、スイッチ、ルータ、およびアクセスポイントの数が示されます。[Manage Licenses] をクリックすると、[License Management] ウィンドウが表示されます。

[Network Configuration] エリアには次の内容が含まれます。

- [設計 (Design)] : ネットワーク全体のデバイスに適用できるネットワークの構造とフレームワーク (物理トポロジ、ネットワーク設定、デバイス タイプ プロファイルなど) を作成します。
- [ポリシー (Policy)] : ネットワークの特定の側面 (ネットワーク アクセスなど) に対する組織のビジネス目標を反映したポリシーを作成します。Cisco DNA Center は、ポリシー内で収集された情報を取得し、お使いのネットワークデバイスのさまざまなタイプ、メーカー、モデル、オペレーティングシステム、ロール、およびリソースの制約によって必要とされる、ネットワーク固有およびデバイス固有の設定に変換します。
- [Provision] : デバイスの準備と設定 (サイトへのデバイスの追加、デバイスのインベントリへの割り当て、必要な設定とポリシーの展開、ファブリックドメインの作成、ファブリックへのデバイスの追加など) を行います。
- **アシュアランス** : ネットワーク インフラストラクチャ、アプリケーション、およびエンドユーザクライアントのパフォーマンスと正常性について、プロアクティブで予測型の実用的洞察を提供します。
- [Platform] : インテント API を使用してネットワークにプログラムでアクセスできます。最適な IT システムと統合してエンドツーエンドのソリューションを作成し、マルチベンダーデバイスのサポートを追加できます。

[ツール (Tools)] : [ツール (Tools)] エリアを使用して、ネットワークを設定および管理します。

図 1: Cisco DNA Center ホームページ



ホームページのさまざまなビュー：

使用する前に

ネットワーク管理者またはシステム管理者として初めて Cisco DNA Center にログインするとき、またはシステムにデバイスが存在しない場合は、次のダッシュレットが表示されます。**[Get Started]** をクリックして開始ワークフローを完了し、ネットワーク内の新しいデバイスを検出します。

In a few simple steps, discover your devices to begin your Cisco DNA Center journey!

Get Started

初めてオペザーバとして Cisco DNA Center にログインすると、次のメッセージが表示されます。

Ask your Network Administrator to add Network Devices to gather Assurance data.

0 日目のホームページ

開始をスキップした場合、またはシステム内にデバイスが存在しない場合は、次のホームページが表示されます。

Welcome, admin Get Started Take a Tour Learn More

In order to gather Assurance data and calculate your network health, we'll need to discover or import your network devices.

[Import](#) [Discover](#)

Network Snapshot

[+ Add Sites](#)

Network Devices
As of December 19, 2018 4:31 PM

0

Unclaimed : 0
Unprovisioned : 0
Unreachable : 0

[Find New Devices](#)

Network Profiles
As of Dec 19, 2018 4:31 PM

0

[Manage Profiles](#)

[+ Import Images/SMLs](#)

DNA Licensed Devices
As of Dec 19, 2018 4:31 pm

0

Switches : 0
Routers : 0
Access Points : 0





[Manage Licenses](#)



検出が進行中の場合は、[ディスカバリ (Discovery)] ウィンドウへのリンクが付いた進捗状況メッセージが表示されます。

We've discovered 10 devices in your network. [View Discovery](#)

システム内にデバイスがある場合は、検出されたデバイスのネットワーク スナップショットが表示されます。

重要な共通タスクを実行するには、ホームページの右上隅にあるアイコンをクリックします。

アイコン	説明
	[Software Updates] : 利用可能なソフトウェアアップデートのリストが表示されます。[Go to Software Updates] リンクをクリックすると、システムとアプリケーションのアップデートを表示できます。
	[Search] : デバイス、ユーザ、ホスト、およびその他の項目が保存されている Cisco DNA Center データベース内の任意の場所で、それらを検索します。
	[Tools] : 使用可能なツールにアクセスします。
	[Settings] : システム設定の構成、監査ログの表示、ログインしたユーザ名の表示、およびログアウトを行います。

アイコン	説明
	<p>ヘルプ :</p> <ul style="list-style-type: none"> • [About] : 現在の Cisco DNA Center のソフトウェアバージョンが表示されます。 [Release Notes] をクリックすると、別のブラウザタブでリリースノートが起動します。 [Packages] をクリックすると、システムおよびアプリケーションパッケージのバージョンが表示されます。 [Serial number] をクリックすると、Cisco DNA Center のアプライアンスのシリアル番号が表示されます。 • [API Reference] : Cisco DevNet に Cisco DNA Center プラットフォーム API のドキュメントが開きます。 • [Developer Resources] : 開発者ツールにアクセスできる Cisco DevNet が開きます。 • [Help] : 状況に応じたオンラインヘルプが、ブラウザの別のタブに表示されます。 • [Contact Support] : Cisco Technical Assistance Center (TAC) でサポートケースが開きます。 • [Make a Wish] : コメントや提案事項が Cisco DNA Center 製品チームに送信されます。
	<p>[Notifications] : 最近スケジュールされたタスクやその他の通知が表示されます。</p> <p>(注) 通知アイコンの横に色のバッジが表示される場合があります。バッジは、タスクまたは通知の変更を示します。青色のバッジは、新しい通知、新しいタスク、または成功したタスクを示します。赤色のバッジは、失敗したタスクを示します。</p>

Cisco DNA Center を初めて使用する場合は、[始める アシユアランス \(9 ページ\)](#) で使い方のヒントや提案を参照してください。



- (注) デフォルトでは、入力したログイン名がウェルカムテキストに表示されます。名前を変更するには、名前前のリンク (例: **admin**) をクリックします。[Users]>[User Management] に移動し、表示名を編集できます。

始める アシユアランス

アシユアランス の使用を開始するには、まず、サーバがネットワーク外と通信できるように Cisco DNA Center を設定する必要があります。

Cisco DNA Center の設定後、現在の環境でアシユアランス の使用を開始する方法を決定します。

- 既存のインフラストラクチャ：既存のインフラストラクチャ（ブラウフィールド導入）があれば、ディスカバリを実行して開始します。ディスカバリを実行すると、すべてのデバイスが **[インベントリ (Inventory)]** ウィンドウに表示されます。詳細については、[基本的な設定のワークフロー](#)を参照してください。
- 新規または存在しないインフラストラクチャ：既存のインフラストラクチャがなく、ゼロから開始（新規導入）する場合は、ネットワーク階層を設計します。ネットワーク階層の設計については、[Cisco DNA Center ユーザガイド](#)を参照してください。